

# 「かえるバッジ」の 使用についてのお知らせ

WLB推進委員会

2015年のインデックス調査では、『業務が終われば周囲に気兼ねなく帰ることができる』の項目において、「そう思う・ややそう思う」の割合が**39.2%**でした。そこで、気兼ねなく帰ることができるために「お互い様」意識を持つことや、時間外勤務を短縮することを目的に、2016年度より「かえるバッジ」を日勤者の2名が付け運用を行ってきました。結果、2020年度は**55.2%**と気兼ねなく帰ることができると感じる人が増えてきたと言えます。しかし、時間外勤務はゼロになることはありませんでした。最近では、看護記録記載や時間外に指示受けを行うケースもあります。時間外業務を次の勤務者に気兼ねなく依頼でき、依頼を受けることができる職場風土づくりを行い、時間外勤務をなくすことを目的に日勤者全員が「かえるバッジ」を付けることにしました。

## 目的



日勤者全員がかえるバッジを付けます

1. 日勤と夜勤帯の業務の区別を行い、定時帰宅を目指す。
2. 時間外勤務をしている日勤者を「かえるバッジ」により、視覚的に明確にし、各自が定時で帰ることを意識を持ちます。